地域おこし協力隊
リレーレポート

観光からはじめられること

久万高原町地域おこし協力隊　笠居　由実

地域おこし協力隊になるまで

「久万高原町で、観光の仕事を募集してるみたいだよ。」と知人から紹介してもらったことがきっかけで、久万高原町の地域おこし協力隊となりました。

それまでは、松山市三津浜地区で地域活性化の仕事に携わっていました。空き家バンクや移住者誘致、サブリース事業や観光案内。ほかにも色々ありましたが、ざっくりと言えばそんな感じです。

そこで数年勤務していたのですが、実家がある香川県に戻ることになり、退職しました。地元に戻ったことを機に、漠然と香川県で仕事を探していたところ、前述したように紹介をしてもらい、昨年の10月に愛媛県へ戻り、地域おこし協力隊として久万高原町へ赴任してきました。協力隊と言えば、都会から遠い田舎へ移住するというイメージがありますが、私の場合は松山に10年以上住んでおり、久万高原町へもよく遊びに行っていたこともあり、遠いというよりも身近な感じがしていたので、すんなりとこちらへ来ることができました。

着任したものの…

久万高原町でこれをやっていくんだ！という確固たる思いが特になく、観光って楽しそう！という気持ちでやってきた私は、着任早々壁にぶち当たります。

ミッションは、「町内を観光で盛り上げてね」というもの。一体どう動いたらいいのか…地元の人に聞いても「好きにやっていいよ。」で終わってしまい、何をどうしたらいいのかさっぱり分からない状態でした。それと、やはり土地によって人の性格やコミュニケーションの取り方も違うので、今まで住んでいたところと同じように接しても同じようにはいかず、その点も苦労しました。

それからは、まずは地域を知ることが大事だと考え、1年間は地域の様子を見てみることにしました。色んなところに顔を出し、様々な手伝いをしました。頼まれたことはほぼ全て引き受けるようにし、イベントの手伝いや参加、祭りの準備や司会、イベントのCM告知など、地道なものや表に出るものなど様々でした。地域のお祭りの一環としてお化け屋敷があるのですが、そこでお化け役をさせてもらったのは面白かったです。

地域で行われるイベントに出店

これまでの活動について

そうやって日々活動していると、色んな人と知り合いコミュニケーションを取

るようになり、自分の中でもこうしたいという思いが出てくるようになりました。

それからは、県内外で観光PRや、特産品の販売、ワークショップ等の活動を行いました。具体的には、三越や高島屋での久万高原町ブース出店、埼玉県にあるイオンレイクタウンでの観光PRと地域の特産である米袋バッグのワークショップの開催や特産品の販売などです。

四国観光PRキャンペーン

イオンレイクタウンでのワークショップ

また、今年の8月には町内外の親子を対象としたイベントを開催しました。目的は、この地域ならではの体験をしてもらい、地域のファン作りをすることでした。内容は、実際に畑に入り野菜の収穫。その収穫した野菜でカレーとピザ焼き体験。さらに、毎月町内で開催されるマルシェへ実際に出店し、自分たちで作ったカレーを販売するというものです。

2日間のプログラムでしたが、地元の子供たちが大変喜んでくれたのが印象的でした。町外の子供たちが畑に入り野菜を収穫したりすることは非日常的で、楽しいと感じてくれることは想像していたのですが、毎日その作業が身近で当たり前に行われている地元の子供たちにとっては目新しいものではないと思っていたので、これは新しい発見でした。

面河渓谷でのキャニオニング

嬉しいことに思っていた以上の反響があったので、これからも継続してさらに幅を広げていけたらと考えています。

これからの活動

協力隊になり約1年が経とうとしています。前にも少し触れましたが、活動していく中で、今、こうしていきたいという考えが浮かんできています。その活動は、すぐには効果が出るようなものではありません。種から森を育てていくような感覚で、長い目で見ていく必要があります。それでも、そこから出てくる変化を楽しみに動いていきたいと考えています。

現在私が所属している観光協会の事務局は私一人ですが、もっと人を増やし、今以上に活動の幅を広げていくことが理想です。そこから起こる地域の変化を見て、地元の方々や地元を出ていった方たちが「いい地域だったんだな」と再認識してもらえるような活動ができるよう、試行錯誤していきたいと思います。地元の方たちが自分たちの地域に愛と誇りをもてるような、そんな活動をこれから楽しく続けていきたいです。

最後にお知らせ

今年の9月、久万高原町観光協会のウェブサイトが完成しました。吟味を重ね、地域の魅力が詰まったサイトになりましたので、よろしければQRコードよりご覧ください。